



2026年3月27日

各 位

上場会社名 株式会社ジュンテンドー
代 表 者 代表取締役社長 飯塚 正
(コード番号 9835 東証スタンダード)
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 尾原 司
(TEL 0856-24-2400)

特別損失の計上及び通期業績予想修正に関するお知らせ

当社は2026年2月期決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします

また、2025年4月11日に公表した業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

当社が保有する店舗の固定資産について、事業環境の変化を踏まえた収益性や今後の見通しなどから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失として507百万円、また店舗閉店に伴う解体費用等として固定資産除却損63百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

2026年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年4月11日発表)	百万円 44,500	百万円 480	百万円 400	百万円 100	円 銭 12.33
今回修正予想 (B)	43,040	238	208	△361	△44.55
増減額 (B-A)	△1,460	△242	△192	△461	—
増減率 (%)	△3.3	△50.4	△48.0	—	—
(ご参考) 前期実績(非連結) (2025年2月期)	44,376	472	458	152	18.82

3. 修正の理由

売上高について、上期のHC売上は前年を上回る状況でありましたが、下期においては、9、10月の多品目にわたる食料品の値上げによるHC商材購買への影響や客数の減少が続いている影響等から当初予想値を大きく下回まわる見込みとなりました。営業収入は増加見込みではありますが、売上高の減少により、売上高と営業収入を合算した営業収益も予想値を大きく下回る見込みとなりました。

当社としては値入の改善による売上総利益率の向上や経費削減に努めたものの、売上高の減少が響き営業利益、経常利益とも当初予想値を下回る見込みとなりました。

また、上記1に記載の通り、店舗の固定資産の減損損失、店舗閉店に伴う固定資産除却損を特別損失に計上する見込みとなり、当期純利益においても予想値を大きく下回り、赤字計上をする見込みとなりました。

【注記事項】

上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は見通しと異なることがあります。

以 上